

創立140周年記念

式典

日時：2月3日 場所：JR ホテルクレメント高松

明治13年2月「高松商法会議所」
として創立し、この2月に140周年
の節目を迎えた当所では、この度記
念式典を開催。

平田副会頭の開式のことばで幕を
開け、国歌斉唱に続き、泉会頭が式
辞を述べた。

祝辞をいただいた平井卓也衆議院
議員、土橋四国経済産業局長、西原
香川県副知事、大西高松市長、枋原
日本商工会議所理事・事務局長を始め、
関係機関、四国内の商工会議所
などから69人の来賓をお迎えし、役員・議員約90人が出席した。

表彰式では、創立140周年記念特別表彰として、代表受領者の常磐産業(株)国東代表取締役社長に
泉会頭より表彰状と記念品が贈られた。また、創立140周年を迎えるにあたり作成したロゴマークと、
キャッチコピーの「今も昔もこれからも」を紹介した。

寺内徳島商工会議所会頭による万歳三唱の後、真鍋副会頭の閉式のことばで式典を締めくくった。



創立140周年記念

講演会を開催

2月3日式典と同日JRクレメントホテル3階玉藻にて、「IoT、AIによる・中堅・中小企業の競争力強化」と題して、独立行政法人経済産業研究所 上席研究員 岩本 晃一氏による講演会を開催し、当所会員のほか、一般参加者を含む322人が参加した。



講演会はレジュメに沿って進められた。平成30年版情報通信白書によると、日本企業の情報化投資の大きな特徴は、コスト削減・人員削減を指向する「守りのIT投資」が主流であり、新しい商品開発・ビジネスモデルの開発・売上増を指向する「攻めのIT投資」は少ないと述べた。

また、中小企業の社長は、IoT、AIを使いこなせるのか、技術をコントロールできるのか、投資を回収できるのかなどの不安を解消しない限り、IoT、AIへの投資を決断できないことを問題として挙げた。

岩本氏は2016年4月から、経済産業研究所RIETIにおいて、「IoT、AIによる中堅・中小企業の競争力強化研究会」を立ち上げ、モデル企業に協力を依頼し、IoT、AI投資への検討を始め、試行錯誤を経て、導入効果が確認できるまでの取り組みを行った結果、中小企業が円滑なIoT、AI導入を行うにあたって、期待通りの結果を生み出すための各種のノウハウが順調に蓄積されてきていると述べた。

続いて、当研究会に参加したモデル中小企業の試行錯誤の事例について説明があり、中小企業向けIoT、AI導入の最も重要なポイントは、(1) 企業が抱える「課題」を見いだすこと、並びに、(2) 「課題」の「解決策」を見いだすことであり、企業ごとに異なる「課題」と「解決策」に適切に対応できる専門家が、企業内あるいは支援機関に配置されることが大事であると述べた。

中小企業へのIoT、AI実装化成功のための共通要因は、当該分野の専門家を育成し、その上で長期に渡って、企業の現場に継続して関わり、専門的な指導を継続することが中小企業のIoT、AI実装化成功の鍵であると締め括られた。

日本の未来像を説いた岩本氏の講演に対し、会場からは惜しみない拍手が鳴りやまず、講演会は盛況に幕を閉じた。